

板橋区 基金総額 ついに約1600億円に!?

# もっと暮らしと教育へ財政支出を

## 積立優先の方針見直しを

2026年度は、区の10年間を示す基本計画の初年度です。財政運営方針には「財源に余裕が生じた場合には、安易な支出をせず、基金への積み立てを積極的に行う」と明記されています。

これまでも年度当初から「余剰が生じて使うな」と号令をかけ基金積立てを優先し、2026年3月末で区基金総額は、約1,600億円です。予算議会では、自民党議員からも「お金を貯めるのが区の仕事ではない」と意見がでるほどです。区の新年度予算案は、一般会計で初めて3,000億円を超える規模です。3月24日の本会議で賛成多数で可

決されました。区議団は、基金積上げ方針を批判し、物価高騰対策や産業支援も不十分で、教育や社会保障充実に背を向けていると指摘し反対しました。

## 暮らしに活用を

### 予算修正動議を提案

区議団は、区長の予算案に対し、約9億5千万円を増額する予算修正動議（詳細は下記）を提出しました。一般会計予算案のわずか約0.3%です。区民の暮らしに少しでも税金の活用が広がるよう提案したものです。本会議（3月24日）で賛成少数で否決されました。引き続き実現目指してがんばります。

## 実現！ 「女性差別撤廃条約選択議定書の早期批准を求める意見書」が可決



世界115か国以上が批准している女性差別撤廃条約を日本政府が批准しないのは問題です。3月2日の本会議で、陳情が採択され意見書が可決されました。※各党態度は下記表

意見書全文は、区議会ホームページをご覧ください→



共産	自民	公明	民主	未来	維新	参政	しな	大森
○	×	○	○	○	×	×	○	×

## 要求実現 暑さ対策の前進！

- 区立小中学校・区立幼稚園・あいキッズへ、ウォーターサーバー設置
- 区立中学校武道場へエアコン設置

冷水機が設置されていない学校があることなどを明らかにし対策強化を求めていました。すべての学校に設置する予算になりました。

- エアコン未所持の生活保護受給者に対し、購入費用または修理を助成

昨年度、区実施のエアコン購入費助成が生活保護世帯を除外していることに対し、繰り返し改善を要求。新規事業として新年度予算に盛り込まれました。

## 産後一か月児 & 産婦健康診査費用助成

2007年に陳情が提出され、2年に渡る継続審査の上、2009年3月に全会一致で採択されてから、17年。予算修正提案に毎年盛り込み、粘り強く求め続け、ようやく新年度予算に盛り込まれました。



## 区議団が約9億5千万円の修正提案

- 区立中学校の修学旅行費の無償化 1億7,746万3千円  
保護者の教育費負担軽減のため、区立中学校の修学旅行費を無償とする経費。
- 若者・高齢者の単身世帯に対する家賃助成 3億7,502万円  
民間賃貸住宅に居住する25歳までと75歳以上の単身者を対象に、月1万円の家賃助成を行うもの。
- 区立施設へのウォーターサーバー等の設置拡充 3,177万3千円  
熱中症対策強化のため、区公共施設のウォーターサーバー設置場所を大幅に増やす経費。
- 高齢者のみ等世帯（非課税世帯）に対するエアコン購入費助成の継続 2,923万円  
区が止めてしまう事業を継続する経費。
- 敬老入浴事業の拡充 2億6,054万1千円  
現在、70歳以上に25回の支給を、52回に増やし、対象を65歳以上に拡げる経費。
- 高齢者補聴器購入費助成事業の拡充 6,109万9千円  
現在、65歳以上の非課税世帯に5万円支給している補助を、非課税世帯は144,900円へ増額し、課税世帯にも72,450円の補助実施を拡充する経費。
- ひとり親家庭家事援護者派遣事業の拡充 2,118万円  
現在、小学生以下の子どもを養育しているひとり親家庭にホームヘルパーを派遣する事業の対象を中学生まで拡大する経費。

## 日本共産党板橋区議団ニュース

# いたばし元気帳

2026年  
春号

●元気帳は無料です。お申し込みは、各区議事務所へ

ご意見・ご要望をお寄せください

発行責任者：日本共産党板橋区議会議員団  
〒173-0004 板橋区板橋2-66-1 TEL 3579-2717 FAX 3579-2731

inf@jcp-itabashi.gr.jp



板橋 日本共産党

検索

## 無法なイラン攻撃はただちに中止を



山内えり

米国とイスラエルによる無法な攻撃で多くの尊い命が奪われ続けています。武力による攻撃は明白な国連憲章、国際法違反です。山内えり議員は、代表質問(3/5)で「米トランプ政権とイスラエルに対し、イランへの無法な攻撃を直ちにやめるよう日本政府から求めるよう区として意見をあげよ」と主張。区長は、

「他国への外交的な働きかけについては政府が国際情勢を見極めて判断すべき。政府の対応を注視したい」と答弁しました。

## 学校で子どもたちに朝食を

現在、区内2校(舟渡・新河岸)の小学校で、朝食の提供が行われています。子ども食堂運営団体と地域や卒業生の保護者などの協力で実現しています。友だちと一緒に朝ごはんを食べることをきっかけに元気に登校する姿が見られるようになったそうです。



荒川なお

荒川なお区議は、補正予算総括質問(2/26)で、同事業に対する教育委員会としての認識を質しました。地域教育力担当部長は「登校への安心感を生む大切な役割。今後も連携を大切にしたい」と答弁しました。

## 住民合意ないまま

### 110mの高さ制限緩和許さない



いらい桐子

高島平のまちづくりは、住民合意のないまま「地区計画」が決定され、その後は住民説明会も行われず、不安の声が上がり続けています。にもかかわらず、区議会に旧高七小跡地エリアの「再整備地区」の高さ制限を110mに引き上げる「高島平二・三丁目周辺地区 地区計画の区域内における建築物の制限に関する条例」が提出されました。いらい桐子区議は、本会議(3/2)で反対の立場で討論を行いました。賛成多数で可決されてしまいましたが、新築住宅の建築工事そのものは、まだ先です。あきらめずに声を上げていきます。

## 増える保育園待機児に緊急対策を



石川すみえ

都の第一子保育料無償化の影響で、2026年4月の保育園待機児が増加する見通しです。「一次、全滅。二次も10人待ちと言われて受かる気がしない。」「第2子を産んだけど、0歳児から1歳児にあがる定員の枠は3しかない。上の子がいても同じ園には入れない」と不安の声です。保育の保障は、区に義務付けられています。

石川すみえ区議は、予算総括質問(3/18)で「『保育園落ちた』などという状況をつくってはならない。緊急の対応を」と求めました。区は「検討する」と答弁しました。

## 緑を増やす取り組みを本気で

区が新たに策定したグリーンプランは今後10年間の「緑の保全と緑化促進の計画」です。2035年までの緑被率の目標は18.76%です。目標未達成の現状から「増やさず維持する」というものです。小柳しげる区議は、一般質問(2/13)で、緑を増やす方針への転換を求めました。区長は「緑をふやす最重要事業」として



小柳しげる

区内の再開発事業を計画における「新規事業」としますが、再開発による緑の増える量を示すこともできません。世界の先進都市では目標を高く掲げ、積極的に緑地や公園を増やす取組を進めています。

## 高齢者の生活に経済的支援を



小林おとみ

予算総括質問(3/18)で、小林おとみ区議は、区の高齢者生活支援として、高齢者インフルエンザワクチン接種助成、補聴器購入費用助成、敬老入浴、シルバーパス購入費用について取り上げました。どの事業も、板橋区は23区の中で助成の内容が大きく立ち遅れています。2500円のワクチン接種費用は無料に、補聴器助成は金額の引き上げと対象拡大を、敬老入浴は25回から52回に、シルバーパスは課税者も1000円にと求めました。区は消極的な姿勢ですが、これからもねばり強く頑張ります。

- 小柳しげる事務所  
双葉町6-12-101  
電話 03-3396119771
- 石川すみえ事務所  
成増1-5-24  
電話 03-339755506
- 山内えり事務所  
大山東町59-6  
電話 03-339620188
- 荒川なお事務所  
坂下1-26-11101  
電話 03-339608530
- いらい桐子事務所  
高島平7-20-17102  
電話 03-69040448
- 小林おとみ事務所  
蓮沼町50-1  
電話 03-64549898

日本共産党の生活・法律相談  
お気軽にご連絡ください

※高島平2丁目、徳丸、四葉、高島平1丁目、前野瀬、中台、上板橋、常盤台1~4丁目(1丁目60~68を除く)、においの方のご相談は、区議室控え室へご連絡ください。